



議会閉会中も案件の審査・調査を行う委員会。その活動内容をお知らせします。

総務建設

町内防災拠点の調査

■6月21日・8月7日開催

町内防災拠点の現地調査について、各担当グループより説明を受け、質疑を行いました。

総務グループ

第一庁舎の非常用発電設備は、浸水の被害を想定し、屋上に設置してい

ます。その機器の運転時間は72時間程度で、2週間一度の試運転を実施しています。

危機管理グループ

防災行政無線設備（危機管理グループ室設置）や町内防災倉庫の説明を受けました。

防災行政無線は、全職員が操作できるのか。

A 定期放送や水防講習会の実施により、多くの職員が操作できる。



▲防災行政無線設備の操作説明を受ける

Q スピーカーからの音声の到達範囲は。

A 使用機器は2種類で、前方に300〜350mの範囲で到達する。ただし、豪雨や風向きなどの気象条件で変わる。

企画グループ

JR土山駅南町有地の活用方針や事業方針などを作成するため、公募型プロポーザル方式による企画提案書を募集し、事業者を6月に決定しました。住民の意向調査や議会の提案など様々な意見を

A これまで土地利用転換計画などで、住民の意見やその検討内容をまとめた資料がある。現時点では、議会の意見も含め幅広く検討する。

公募型プロポーザル方式とは

発注する業務に応じて、企画などの提案を募集し、その内容を総合的に評価して最も優秀な事業者を選定する方式。

厚生教育

高齢者施設の誘致計画

■6月19日開催

播磨町高齢者福祉計画、介護保険事業計画。超高齢化・高齢者介護のあるべき姿を念頭に、平成26年度までの高齢者施策を展開します。基本目標は次の通りです。

- ① 介護予防・健康づくり
- ② 生きがいづくり、社会参加
- ③ 高齢者の尊厳に配慮したケアの推進
- ④ 地域における安心な生活の確保
- ⑤ 介護サービスの基盤整備
- ⑥ 介護保険事業の適正・円滑な運営の推進

高齢者施設の整備

計画で整備予定の高齢者施設は、ワンフロアに台所、リビングなどを取り囲むように居室があり、ひとつの家族のように生活をすると18床（1ユニット9床）を考えています。

■7月19日・20日実施

行政視察報告

「安心生活創造事業」について、岡山県美咲町、香川県琴平町の視察を行いました。

この事業は、「悲惨な孤立死、虐待など発生させない地域づくり」を目指し、3つの原則に基づいた取り組みを行います。

- ① 地域において、生活支援を必要とする方々を把握し、普段の生活においてどのようなことに困り、何が必要なのかを把握します。
- ② 地域の支援体制づくり
- ③ それを支える、安定的な地域の自主財源確保に取り組みます。

議会運営

先進議会を視察訪問

議会改革の進展のため、議会報告会や通年議会・議員間討議について調査を行いました。

■7月17日実施

京都府綾部市 小学校区単位12カ所で行う年1回、3月定例会後に開催。5〜6人の議員で班編成し、報告者は正副議長と正副議会運営委員長で、司会は地元議員、書記は役割分担します。事

務局は受け付けを担当。意見交換を主体に進めていきますが、地区単位の要望が主体で、行政への不満を議会にぶつけられます。

3月の第一日曜に開催している日曜議会は、積極的な広報活動で一日延べ1000人を超える方が傍聴に来られるとのこと。

■7月18日実施

京都府与謝野町 町民は議員に何を望ん



▲先進議会を学ぶ（京都府与謝野町）

でいるのかアンケート調査を行い、苦情がとても多いことから対話が足りないことを実感しました。そこで、議会基本条例の制定を目指し、平成24年3月に町民から議会改革に向けて話を聞く場と

して議会懇談会を開催しました。議会から課題を3点報告し、それに対する意見や住民の要望を聞き取りました。

9月定例会後も会場を増やし、議会報告会を開催します。議会は、座して待つではなく年に1〜2回は住民の前に出たいものです。

通年議会や議員間討議の導入は前向きに研究中のことです。

◆◆◆◆◆ 私たちも、住民の皆さんに信頼される議会を目指して改革を推進したいと考えています。

議会広報公聴

見やすい紙面作りを学ぶ

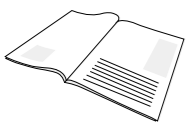
■7月30日・31日実施

昨年引き続き、技能研さん・情報収集を目的として、東京都千代田区の砂防会館で開催された全国町村議会議長会主催

の第76回町村議会広報研修会に参加しました。全国津々浦々から広報活動に従事する多数の職員が参集。2日間にわたり、分かりやすい文章の書き方や

レイアウト表現の基本、写真の撮り方について講義を受けました。

播磨町「議会だより」は、「読みやすさ」「読みやすかった」と思われる紙面作りを目指していきます。



平成23年度 政務調査費の決算報告

議員の調査研究に必要な経費で会派ごとに支出する政務調査費（1議員につき月1万円）は平成23年度に160万円交付し、189,871円の返還がありました。

《《《 会派別の用途など 《》》》

（単位：円）

区分	会派（議員名）	交付額	支出額				返還額	主な支出内容
			調査研究費	研修費	会議費	計		
議員改選前	公明党（宮尾 尚子）	10,000	0	0	0	0	10,000	
	青雲21（◎藤原秀策、岡田千賀子、小原健一）	30,000	37,830	0	0	37,830	0	書籍購入
	日本共産党（田中久子）	10,000	0	0	0	0	10,000	
	無所属（福原隆泰）	10,000	0	0	0	0	10,000	
議員改選後	公明党（◎宮尾尚子、木村晴恵）	220,000	124,310	40,470	0	164,780	55,220	先進地調査（6・2月）、研修会参加（10月）、書籍購入
	新政会（◎福原隆泰、神吉史久、奥田俊則、大辻裕彦、藤田博、河野照代）	660,000	358,460	245,730	0	604,190	55,810	講演会・講座参加（5・8・10月）、先進地調査（6・2月）、書籍購入
	青雲21（◎藤原秀策、宮宅良、岡田千賀子）	330,000	323,180	24,020	0	347,200	0	研修会参加（8・11月）、先進地調査（1月）、書籍購入
	日本共産党（◎田中久子、松岡光子）	220,000	143,113	64,160	0	207,273	12,727	研修会参加（5月）、先進地調査（1月）、書籍購入
	無所属（山本雅之）	110,000	73,886	0	0	73,886	36,114	先進地調査（1月）、書籍購入

◎=代表者 ※無所属議員も交付対象です。